

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準は満たしている。活動によってはフロアの広さはもう少し必要と思われるが、整理整頓して広く見せる工夫をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			適切である。イベントの際は職員を多めに配置して、より児童の動作に目が行き届くようにしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			車イスのスロープの配慮は行っている。トイレが狭く車いすが入れないため、検討中である。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			会議にて児童一人ひとりについて話し合いをしている。職員間で情報を共有する意識をもっている。
	⑤	保護者等向け評価票を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様からのアンケートをしっかりと受け止め速やかに業務改善を行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ等にて今回から公開をする。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は行っていない。第三者の外部評価を取り入れてより正確な評価を行えるようにする。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に職員は研修に参加している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々の児童の様子を観察したり関わりを持つことは出来ており、保護者様からの情報も集めている。今後も面談やお話をする機会を増やしていきたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールは使用していない。今後、策定し活用していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			スタッフ間でしっかりと話し合いを行ったうえで活動プログラムを立案している。季節や流行的なイベントも積極的に取り入れている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な 支援の 提供	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか		○		毎週、活動プログラムを変えて固定化しない工夫をしている。他にも児童が”今”やりたいと思っている事を柔軟に取り入れている。
	⑬	平日、休日、長期 休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個々に合わせたペースで課題を決め、実践することにより児童の成長がみられる。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団 活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		児童の様子に合わせて個別活動や集団活動へ繋がるように支援している。児童一人ひとりの様子を観察しながら進めているがま、まだまだ経験不足である。
	⑮	支援開始前には職員 間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割 分担について確認しているか	○			職員 全員で当日の流れや支援内容を朝礼で話し合っている。急な変更などもすぐ伝えるように心掛けている。
	⑯	支援終了後には、職員 間で必ず 打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			朝礼と同様にスタッフ全員で終礼を行い当日の振り返りを行っている。児童の些細な変化など気づいたことは伝え合うようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			児童にどのような支援を行ったか？支援を行い児童がどう感じたのか？を記録している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行って個々に合ったペースで支援を行いスタッフとの情報 共有・交換をしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			児童の特性に合わせて支援を変えている。様々な方法を用いて、成功体験を感じ、長所を伸ばし、課題をクリアできるよう支援することを心掛けている。
	⑳	障害児 相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		保護者様や障害 児相談支援事業所の都合が合わず間接的な情報 交換になることもある。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	21	がっこう じょうほうきょうゆうねんかんけいかく ぎょうじよ 学校との情報 共有 (年間計画・行事予定等)の交換、子どもの下校時刻の確認等、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			ちいき れんらくかい さんか がっこう じょうほう 地域の連絡会に参加をして学校との情報共有の必要性を改めて感じ、最近では学校や先生方との交流を意識している。
	22	いりょう ケア ひつよう こども う い ば 医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	きゅうきゅう じ いりようてき ひつよう とき そな 救急時、医療的なケアが必要な時に備えて、病院などに連絡体制を整えておく。保護者様にも再度確認を行った。
	23	しゅうがくまえりよう ほういくしよ うち 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報 共有と相互理解に努めているか		○		でんわ じょうほうこうかん おこな 電話での情報 交換を行っている。ひととき ようす つた ていど 子どもの様子を伝える程度なので、児童についてより深い情報 交換を行う場を設ける。
	24	がっこう そつぎょう ほうかごとう じ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害 福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		げんざい そつぎょうご じょうほうていきょう 現在は卒業後の情報を提供できていないが作業 所などの見学を通して情報 共有を行っていく。
	25	じどうはつたつしえん ばつたつしやうがいしや 児童発達支援センターや発達 障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		けんしゅう こうしゅう う けんご せっきよくてき 研修や講習を受けている。今後も積極的にさんか かつどう はば 参加をして活動の幅を増やす。
	26	ほうかごじどう じどうかん こうりゅう 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	げんざい きかい きんりん がっこう こうりゅう 現在は機会がない。近隣の学校との交流をふか きかい 深め機会を設けていく。
	27	ちいきじりつしえん きょうぎかいどう せっきよくてき (地域自立支援)協議会 等へ積極的に参加しているか		○		こんご つづ さんか おこな ちいき 今後も続けて参加を行っていく。地域ネットワークの強化を図る。
	28	ひごろ から こども の じょうきょうほごしや つた え 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や 課題について 共通 理解を持っているか	○			じぎょうしよ こ こどもたちの ようす つた 事業所での子どもたちの様子を伝えるとともに、自宅での様子を聞かせていただき 今後の支援の方向性を確認している。
	29	ほごしや たいおうりよく こうじょう はか かんてん 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ほごしやさま そうだん う あ 保護者様からの相談を受けニーズに合わせた支援を行っている。よりの確かな回答ができるようにスタッフで勉強会を考えている。
	30	うんえいきてい しえん ないよう りようしゃふたんとう 運営 規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			けいやくじ つ どせつめい ひつよう さい おこな 契約時や都度説明が必要な際は行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			事業所・自宅での児童の様子を保護者様と話し合い課題を明確にしながら”どういった支援が必要か”を伝えている。支援をした結果を近日中には保護者様に尋ねている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		積極的に保護者会やイベント(保護者様向けのクッキング会など)を開催する。さらにはこちら側から保護者様同士の交流を助長する働きがけが必要と思われる。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情や要望があった場合は速やかに対応させていただいている。また、改善点や望まれた支援内容を保護者様に説明させていただいている。計画や結果について職員間で話し合い、今後の支援に繋げている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月のおたよりに活動内容や予定を記載している。定期的なブログの投稿をしており、保護者様や一般の方々にも発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			保護者様の了承を得た後にブログの写真のせるようにしている。個人名が記録された書類は持ちださず取り扱いにも注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カードやフロアの大きく見やすい「あいよえお表」などのツールを活用して意思疎通の工夫をしている。連絡帳を通じて児童の様子や近況報告を詳しく記入して保護者様との連絡を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在は保護者様以外の方々とのイベント参加はない。近隣の方々も参加できるイベントを考案・企画する。地域のイベントでは一般の方々との交流を行っている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員が見やすい場所に掲示している。連絡帳やおたよりにて保護者様に伝えることを心がけている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月一回以上は防災訓練を行っている。児童向けに紙芝居やクイズを交えて伝わりやすい工夫をしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の 対応	④①	ぎゃくたいぼうし 虐待を防止するため、職員 <small>しよくいん</small> の研修 <small>けんしゅう</small> 機会 <small>きかい</small> を確保 <small>かくほ</small> する等、適切な対応 <small>たいおう</small> をしているか	○			ぎゃくたいぼうし 虐待防止の研修にも積極的に参加している。研修に参加したスタッフ <small>けんしゅうさんか</small> が他のスタッフにも内容を伝えている。
	④②	どのような場合 <small>ばあい</small> にやむを得ず身体拘束 <small>しんたいこうそく</small> をおこなうかについて、組織的に決定 <small>けつてい</small> し、子どもや保護者 <small>ほごしゃ</small> に事前 <small>じぜん</small> に十分に説明 <small>せつめい</small> し了解 <small>りようかい</small> を得た上で、放課後等デイサービス計画 <small>けいかく</small> に記載 <small>きざい</small> しているか	○			事前に保護者様 <small>ほごしゃさま</small> に了解を得るようになっている。身体拘束 <small>しんたいこうそく</small> が必要な理由 <small>りゆう</small> 、行った行為 <small>こうい</small> の結果 <small>けつか</small> を必ず保護者様 <small>ほごしゃさま</small> に伝える。
	④③	食物アレルギー <small>しょくもつ</small> のある子どもについて、医師 <small>いし</small> の指示書 <small>しじしょ</small> に基づく対応 <small>たいおう</small> がされているか		○		前もって食物アレルギーに関するアセスメント <small>あせすめんと</small> をしており、食事の際 <small>しょくじ</small> は十分に注意 <small>ちゅうい</small> している。緊急時 <small>きんきゅうじ</small> のトラブル対応 <small>たいおう</small> には例題 <small>れいだい</small> を用いて対応策 <small>たいおうさく</small> を職員 <small>しよくいん</small> で考え <small>かんが</small> トラブル時 <small>じ</small> に備えておく。
	④④	ヒヤリハット事例集 <small>じれいしゅう</small> を作成 <small>さくせい</small> して事業所内 <small>じぎょうしょない</small> で共有 <small>きょうゆう</small> しているか	○			社内 <small>しゃない</small> 全体 <small>ぜんたい</small> で取り組み <small>とりくみ</small> 、全職員 <small>ぜんしよくいん</small> に情報 <small>じょうほう</small> を共有 <small>きょうゆう</small> している。他の事業所 <small>た</small> で起こった事例 <small>じれい</small> についても話し合い <small>はなあ</small> を行っている。